

多士漬々

有限会社イシダ

所在地 山口市黒川広瀬378番2号（工場）
山口市湯田温泉一丁目8番13号（本社）

連絡先 TEL 083-922-2167
メール igusa@isidatatami.com

H P <https://isidatatami.com>

代表取締役 石田昭典

●沿革

大正15年 創業
平成 2年 有限会社イシダとして
法人化
令和 8年 創業100周年



ホームページ



今月号では、今年で創業100周年を迎えられた(有)イシダ(石田畳店)の代表取締役 石田昭典氏にお話を伺いました。

●家族で繋ぐ100年の畳づくり

大正15年1月、先代の石田國一が石田畳店を創業し、今年でちょうど100周年を迎えました。湯田温泉で創業しましたが、作業場が手狭になったことなどから、23年前より平川の工場に主な機能を移しています。

畳の仕事は15歳の頃から広島県三原市で修業しており、4~5年ほど経験を積んでから、縁あって石田家に入り二代目となりました。現在は7人兄弟のうち次男の紀昭と、六男の真吾と一緒に仕事をしています。紀昭は大阪で百貨店やスーパーなどの店舗改装の仕事に携わっていたのですが、会社の将来を考えて「後を継いでもらえないか」と相談し、約25年前に山口に戻ってきてもらいました。真吾は短期大学を卒業した後、家業へ入りました。2人には技術を承継しただけでなく、ホームページの作成や情報発信など私が苦手なデジタル分野でも活躍してくれているので助かっています。



左から石田真吾氏、代表取締役の石田昭典氏、専務取締役の石田紀昭氏

●伝統品質と現代ニーズへの対応

当社では、「三本の矢」にかけて、畳の製造には針を使うことから「石田畳店『三本の針』」として、「【温故知新】歴史を知り、未来に活かします」「【切磋琢磨】日々精進し、腕を磨きます」「【以和為貴】日本の美徳、和の心を大切にします」という3つを指針にしています。

畳の製造においては、材料を仕入れ、芯材となる畳床に畳表（ござ）や畳縁（へり）を縫い付けるなど自社で加工し、現場に設置するまでを一貫して行います。近年では畳づくりは機械を使って行うことがほとんどになりましたが、手で作れることが基本となります。手で出来なければ、機械を使っても応用が利きません。国家資格の技能検定は、制限時間内に手縫いで畳を仕上げることが求められます。当社ではその検定をクリアし、施工に当たる全社員が一級畳技能士を取得しており、確かな技術を提供できます。

そのほか、畳ドクター認定店であり、また、職業訓練指導員免許の取得者が2名、厚生労働省が認定するものづくりマイスターも2名おり、学校での指導も可能です。山口県畳技能士会の事務局も請け負っています。

お客様は個人住宅だけでなく、工務店、ハウスメーカー、法人、ホテル、神社仏閣等です。去年は山口市菜香亭の畳の張替えを手がけました。菜香亭では天然い草仕様の畳表の伝統畳を入れました。

最近流行の和紙や樹脂（工業畳表）等は、時代の変化や生活様式にあわせて、天然い草の風合いや肌触りを表現したものです。このような畳は変色しづらく、耐久性に優れ、汚れにくいなどの特徴があり、色やデザインのリッチも豊富です。最近の新築住宅では縁無し畳を使用することが多くなり、和洋折衷の空間にも自然に溶け込むデザインが求められています。

伝統の品質を守りながら、伝統を守るだけでなく、時代の変化に合わせて進化し、現代の住まいに合った対応をできることが、今の畳店に求められている役割だと感じています。



畳をつくる様子



山口市菜香亭